

bank



株主通信

— 2013年 —

「モバイルインターネット世界No.1」へ、
ソフトバンクの挑戦は続きます。



SoftBank

ソフトバンク株式会社 証券コード:9984

株主通信 2013年 目次



- 2 2013年度上期の事業概況
- 4 Q&A
- 6 特集1 | スマートフォン時代のネットワークNo.1へ
もっとつながりやすく、さらに高速に
- 8 特集2 | 米国での事業が本格始動
スプリントとブライトスターを傘下に収め、
米国市場に挑戦
- 10 特集3 | 「スマホゲーム」世界No.1へ
スマートフォン時代のコンテンツ戦略として
モバイルゲーム会社を子会社化
- 12 連結業績ハイライト
- 14 セグメント別営業概況
- 16 株主アンケート 結果ご報告
- 17 会社概要

株主の皆さまへ

当社は、2013年7月に米国第3位の携帯電話事業者である
スプリント・コーポレーションの
買収を完了いたしました。

今後は、日米両国において通信事業の
成長を加速させてまいります。

また、コンテンツ分野でも成長を目指し、
同年4月にガンホー・オンライン・エンターテイメントを、
10月にスーパーセルを子会社化いたしました。

当社はこれからも、
「モバイルインターネット世界No.1」の実現に向けて、
成長を続けてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、
今後ともご理解とご支援のほど
よろしくお願い申し上げます。

ソフトバンク株式会社
代表取締役社長

孫正義

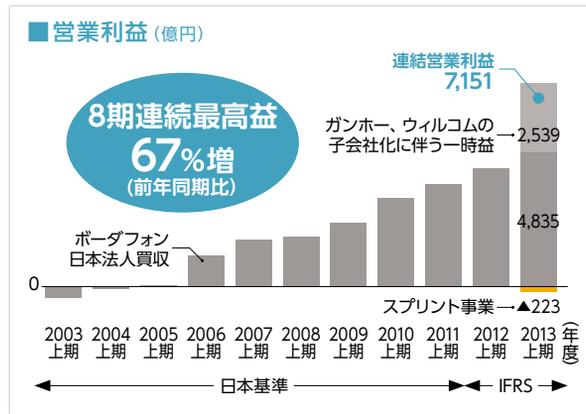
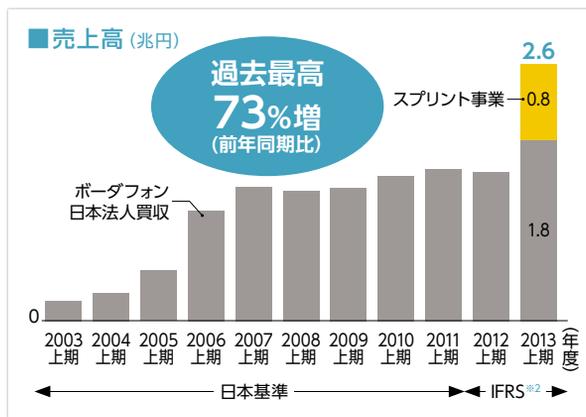


2 0 1 3 年 度 上 期 の 事 業 概 況

当 社の2013年度上期(4月～9月)の連結業績は、スプリント・コーポレーション(以下、スプリント)やガンホー・オンライン・エンターテイメント(以下、ガンホー)などの子会社化により大きく拡大し、売上高、営業利益、純利益※1が、いずれも上期において過去最高となりました。

売 上高の増加は、スプリントなどの子会社化に加え、ソフトバンクモバイルの業績が好調に推移したことによるものです。また営業利益は、移动通信事業の利益が増加したほか、子会社化したガンホーとウィルコムを公正価値で再測定し、一時益2,539億円を計上しました。

「既存事業の成長と戦略的な買収により、売上高、利益ともに過去最高を更新」



※1 親会社の所有者に帰属する純利益。 ※2 国際会計基準。

当 社は、スマートフォン時代におけるコンテンツとしてゲームを重視しています。ゲームはスマートフォン上のアプリケーションの売上高の約8割を占め^{※3}、今後も市場の拡大が期待されています。当社は、スマートフォン向けゲーム市場の成長性を取り込むため、2013年4月にガンホーを、10月にフィンランドを拠点とするモバイル端末向けゲーム会社のスーパーセルを、新たに子会社化しました。両社をコンテンツ分野の牽引役とし、「モバイルインターネット世界No.1」に向け取り組んでいきます。

今 後、国内の既存事業をさらに成長させるとともに、スプリント事業を着実に反転させていきます。また、モバイル端末向けゲームをはじめ、コンテンツビジネスをさらに拡充させていきます。

^{※3} App Annie調べ。

中 間配当は、9月末時点の株主に対して1株当たり20円とし、期末配当の1株当たり20円と合わせ、年間配当は1株当たり40円となる予定です。

「利益や株式価値などのあらゆる面で世界No.1を目指す」

当 社は、事業の持続的成長と戦略的投資により、利益、キャッシュ・フロー、株式価値などのあらゆる面で世界No.1を目指していきます。株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



Q

&

A

株主の皆さまからのご質問にお答えします。

Q 携帯電話サービスの販売状況は？

A 引き続き順調に推移しています。他の携帯電話大手2社がiPhoneを取り扱うようになったことで、競争の激化が懸念されましたが、今秋発売したiPhone 5s、iPhone 5cの販売は好調に推移しています。2013年4～9月の純増契約数は、子会社のイー・アクセス、ウィルコムを合わせて191万件となり、圧倒的なNo.1となりました。



Q 負債が大幅に増えたが、大丈夫なのか？

A スプリント買収に伴い、当社の財務体質は一時的に悪化しています。しかし2006年のボーダフォン日本法人買収時に比べて、事業から創出される利益規模は拡大し、財務の安全性は格段に向上しています。これらを受け、2013年9月に借り入れた1.98兆円の平均金利は、当時と比べて大幅に低くなりました。

調達資金の平均金利
3.8%



ボーダフォン日本法人買収時
(2006年)

大幅な
低利調達

1.4%

スプリント買収時
(2013年)

Q | 社会貢献への取り組みは？

A | シニア層を対象としたスマートフォン「シンプルスマホ SoftBank 204SH」の発売に合わせ、シニア販売員による「シンプルスマホ教室」を首都圏で開催しました。今後も増加するシニア顧客の満足度向上を図りながら、シニア販売員の生きがい発掘を支援していきます。



「シンプルスマホ教室」の様子

シンプルスマホ
SoftBank 204SH

Q | 今後の業績見通しは？

A | 2013年度は売上高6兆円以上、営業利益1兆円以上になると予想しています。この営業利益には、ガンホーとウィルコムを子会社化したことに伴う一時的な利益が含まれています。2014年度は、売上高が7兆円、営業利益が1兆円になると予想しています。一時的な利益の発生は見込んでいません。

業績予想

	2013年度	2014年度
売上高	6兆円以上	7兆円
営業利益 (うち一時的な利益)	1兆円以上 (2,539億円)	1兆円 (—)

2014年度には一時益抜きで
営業利益1兆円を見込む

もっとつながりやすく、さらに高速に

プラチナバンドで、「スマホのつながりやすさNo.1」を達成

2012年7月25日に、「プラチナバンド」と呼ばれる900MHz帯を使った通信サービスを開始しました。

プラチナバンドは、障害物を回り込んでより遠くまで電波が届くという特性があります。全国でプラチナバンド対応基地局の増設をスピーディーに進め、2013年10月末時点で2.8万局となりました。プラチナバンドに対応したエリアが拡大したことにより、これまでつながりにくいと言われていた郊外の場所などでも、電波状況が大幅に改善しました。

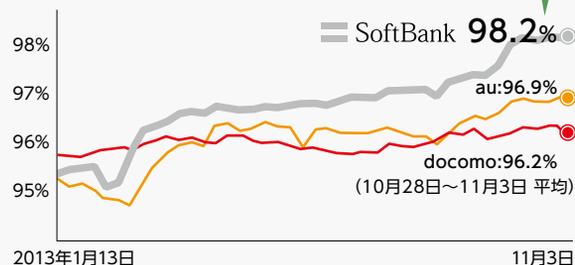
こうした取り組みの結果、携帯電話大手3社を対象とした接続率の調査において、「スマホのつながりやすさNo.1」を達成しました。



プラチナバンド対応エリアが拡大



スマホのポケット接続率 (全国・週間平均)



※統計分析処理:株式会社Agoop プラチナバンド対応スマホのポケット接続率。防災速報(ヤフー)とラーメンチェッカー(Agoop)を利用の各社プラチナバンド対応スマホ計約120,000台(ソフトバンク:約40,000台、NTTドコモ:約40,000台、au:約40,000台を無作為抽出)のデータを個別に分析。

LTEで「高速通信の速度No.1」へ

つながりやすさを改善するとともに、スマートフォンの通信速度を高速化し、より快適で安定した通信の実現に取り組んでいます。

高速なデータ通信が可能となるLTEに対応する基地局を増設しているほか、下り最大75Mbps※1の高速通信が利用可能な「倍速ダブルLTE」※3の提供を2013年8月より開始しました。

こうした取り組みの結果、同年9月に携帯電話大手3社から発売されたiPhone 5cの下り平均通信速度を全国500駅で比較した外部調査において、No.1を獲得しました。



iPhone 5cにおける下り平均通信速度調査

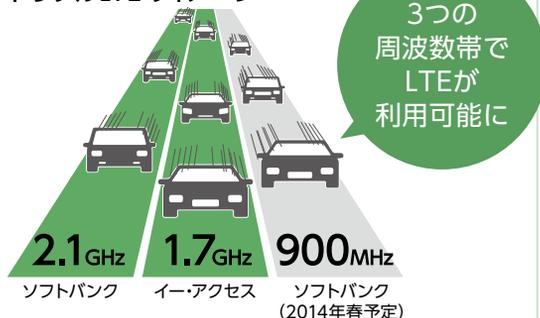


※Cross Marketing (2013年9月30日)
1日の乗降客数全国上位500駅において
下り平均通信速度が1位となる駅数をカウント。

LTEをもっとつながりやすく

快適で安定した通信の提供を目指し、2014年春から新たにプラチナバンドでもLTEを開始する予定です。2.1GHz帯、1.7GHz帯、900MHz帯の3つの周波数帯でLTEを提供することで、「トリプルLTE」へと進化します。

トリプルLTEのイメージ



※1 ベストエフォート方式のため、回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下、または通信できなくなる場合があります。※2 ご利用のエリアによっては、下り最大37.5Mbpsとなります。

※3 ソフトバンクとイー・アクセスの両方のLTEが、下り最大75Mbpsで使えるサービス。

スプリントとブライトスターを傘下に収め、 米国市場に挑戦

当社はスプリントの買収を完了し、米国という巨大市場で本格的な事業展開を開始しました。世界No.1の携帯端末卸売会社であるブライトスター・コーポレーション(以下、ブライトスター)も2013年中にグループに加わり、日米間でのシナジー創出に向けた準備が整いつつあります。

スプリントの子会社化を完了

2013年7月、当社はスプリントの買収を完了しました。ソフトバンク流の経営ノウハウを生かし、同社の成長のための重点課題である「ネットワーク改善」「営業費用の削減」「端末調達コストの削減」「営業の強化」に、グループ一丸となって取り組んでいます。

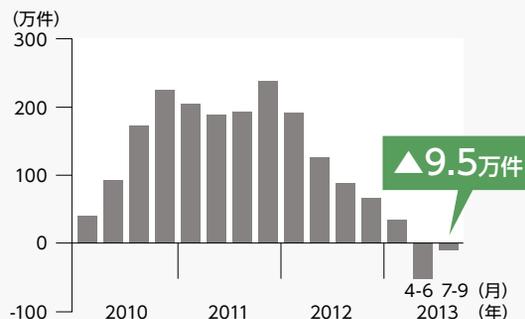


社長の孫正義によるスプリント幹部向けスピーチ
(2013年9月 スプリント本社にて)

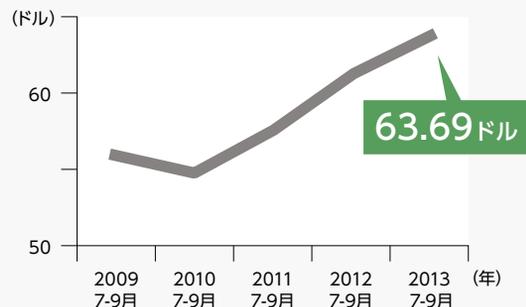
スプリントが回復軌道に

スプリントにおいては純増契約数の減少が続いていましたが、当社による買収完了後から、徐々に回復の傾向を見せています。2013年7-9月期のARPU※1が過去最高となるなど、業績は着実に回復しつつあります。また2013年10月から、新しい高速データ通信サービス「Sprint Spark」の提供を開始しました。これは、同社が保有する800MHz帯、1.9GHz帯と子会社が保有する2.5GHz帯の3つの周波数帯を組み合わせた高速データ通信サービスで、下り最大60Mbpsの高速化を実現しています。米国主要5都市で提供を開始し、今後3年間で人口の上位100都市で提供する予定です。

■ 純増契約数 (スプリント・プラットフォーム)



■ ARPU (リテール/ポストペイド)



世界No.1の携帯端末卸売会社、ブライトスターを子会社化

当社は、世界No.1※2の携帯端末卸売会社であるブライトスターを2013年中に子会社化する予定です。携帯端末の調達規模を拡大するとともに、同社の世界的な流通網を生かして、日米における競争力をさらに高めていきます。



※1 ARPU (Average Revenue Per User): 1契約当たりの平均収入。リテール/ポストペイドにおいて。 ※2 売上高ベース (ブライトスター調べ)。

スマートフォン時代のコンテンツ戦略として モバイルゲーム会社を子会社化

当社は、これまでもモバイルコンテンツの強化に努めてきましたが、そのなかでもスマートフォン時代におけるコンテンツとして、ゲームを重視しています。スマートフォンが世界的に普及するなか、2013年4月には関

連会社であったガンホーを子会社化しました。また、同年10月にはガンホーと共同で、フィンランドを拠点にモバイル端末向けのゲーム事業を展開するスーパーセルを子会社化しました。

大ヒットゲーム「パズル&ドラゴンズ」

ガンホーが2012年2月から提供を開始したスマートフォン向けパズルRPG「パズル&ドラゴンズ」は、サービス開始後順調にダウンロード数を伸ばしています。2013年11月には、国内ダウンロード数が2,100万件を超えたほか、海外ダウンロード数も300万件^{※1}を突破しました。

また、サービス開始後1年半を経過した現在でも、アップル製品向けApp StoreとAndroid端末向けGoogle Playのいずれも、

「パズル&ドラゴンズ」ダウンロード数(国内)



© GungHo Online Entertainment, Inc. All Rights Reserved.

国内売上ランキング1位を維持しています。この結果、ガンホーは2013年1月～9月の営業利益^{※2}が前年同期比28倍となるなど、業績を大きく拡大しています。今後も、12月にニンテンドー3DS向けに提供するなど、さらなる成長が期待できます。

※1 北米市場で200万ダウンロード、韓国で100万ダウンロードをそれぞれ達成。 ※2 日本基準。

世界No.1のモバイルゲーム会社である スーパーセルを子会社化

ソフトバンクとガンホーは、2013年10月に共同でスーパーセルの株式の51%を取得^{※3}しました。スーパーセルは、クラッシュ オブ クランズ「Clash of Clans」と「ヘイ デイHay Day」の2つのゲームを提供しています。「Clash of Clans」は139カ国で、また「Hay Day」は102カ国でApp Storeの「ゲーム」カテゴリにおけるセールスランキング1位を獲得しており、同カテゴリでの売上が世界No.1^{※4}となっています。

今後スーパーセルは、独立性を保ちながらも、ソフトバンクとガンホーとのパートナーシップを生かしてさらなる成長を目指していきます。また、ガンホーはスーパーセルの海外マーケティング力を世界展開の強化に活用していく予定です。ソフトバンクは、ガンホーとスーパーセルをコンテンツ分野の牽引役として「スマホゲーム世界No.1」としての取り組みを進めていきます。



スーパーセルCEOイルッカ・パーナネン氏と（2013年10月31日）



「Clash of Clans」



「Hay Day」

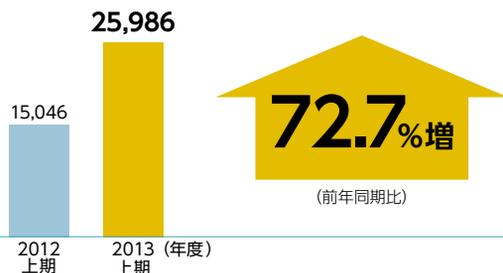
※3 ソフトバンクが80%、ガンホーが20%出資する特別目的会社を通じての取得。 ※4 2013年2月～8月の7か月間、App Storeの「ゲーム」カテゴリにおける売上で世界1位。App Annie調べ。

連結業績 ハイライト

既存事業が好調だったことに加え、
スプリントやガンホーなどの連結に伴い、業績が大きく拡大しました。

■ 売上高

(単位: 億円)



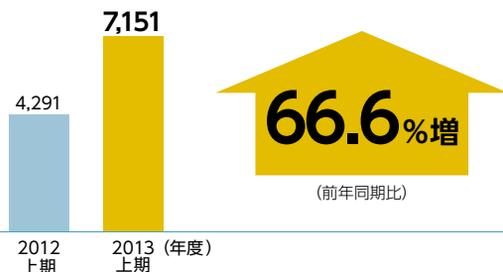
スプリントの子会社化と移動通信 事業の増収で過去最高★を更新

売上高は2兆5,986億円となり、前年同期から1兆940億円(72.7%)増加しました。スプリントの子会社化で7,609億円増加し、ソフトバンクモバイルの売上増加や新規連結の影響など*により移動通信事業の売上で2,985億円増加しました。

※当社は2013年1月にイー・アクセスを、同年4月にガンホーを、また同年7月にウィルコムを子会社化しています。

■ 営業利益

(単位: 億円)



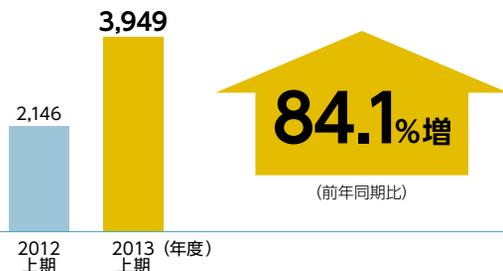
既存事業の増益と子会社化に伴う 一時益の計上で8期連続最高益★を更新

営業利益は7,151億円となり、前年同期から2,860億円(66.6%)増加しました。既存事業の増益に加え、子会社化にあたりガンホーとウィルコムの株式を公正価値で再測定し、一時益*2,539億円を計上しています。

※企業結合に伴う再測定による利益。

■ 純利益 (親会社の所有者に帰属する純利益)

(単位: 億円)



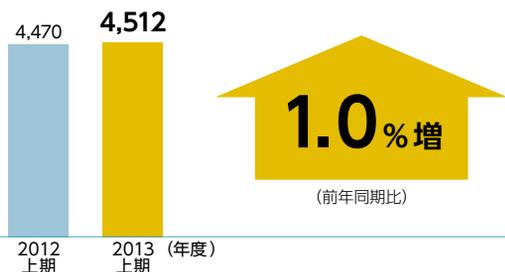
営業利益の増加に伴い 大幅に増加

純利益は3,949億円となり、前年同期から1,803億円(84.1%)増加しました。これは主に営業利益の増加によるものです。

★当社が連結決算を開始した1994年度以降。

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

(単位：億円)

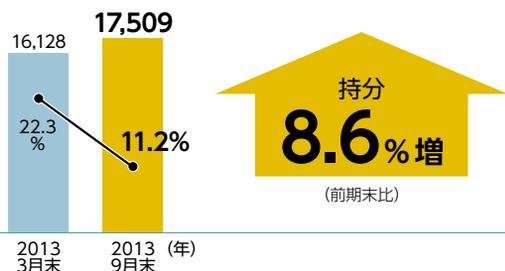


引き続き高水準のキャッシュを創出

営業活動によるキャッシュ・フローは4,512億円のプラスとなりました。このうちスプリントの営業キャッシュ・フローは559億円でした。ガンホーの子会社化などにより法人所得税の支払いが増加しましたが、引き続き高水準のキャッシュを創出しています。

■ 親会社の所有者に帰属する持分・持分比率

(単位：億円／%)



持分は1,381億円増加 スプリント買収で持分比率は低下

親会社の所有者に帰属する持分は1兆7,509億円となり、2013年3月末から1,381億円(8.6%)増加しました。一方でスプリント買収による資産および負債の増加に伴い、持分比率*は11.2%となり、2013年3月末から半減しています。

※親会社所有者帰属持分比率＝親会社の所有者に帰属する持分÷資産合計。

国際会計基準 (IFRS) の導入について

当社は2013年度からIFRSを導入しています(移行日:2012年4月1日)。これに伴い、2012年度上期の数値についてもIFRSに準拠して表示しています。

スプリントの子会社化について

当社は2013年7月10日にスプリントの買収を完了し、子会社化しています。同社の業績は、同年7月11日から反映されています。また、同社の子会社化に伴い新たな事業セグメントとして「スプリント事業」を新設しています。

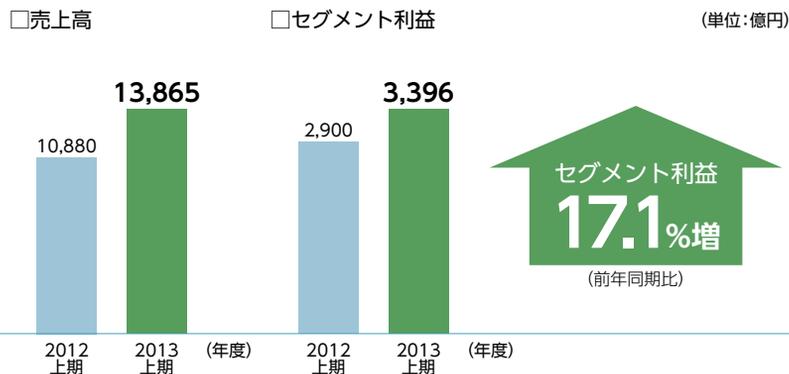
セグメント別 営業概況*

移動通信事業とインターネット事業は増収増益となりました。
また、スプリント事業を新設しました。



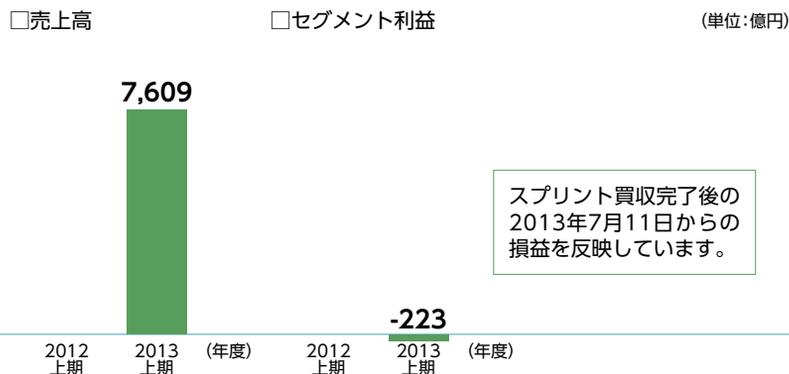
移動通信事業

ソフトバンクモバイルの携帯電話の販売が好調だったほか、ガンホーやイー・アクセスなどの子会社化で大幅な増収増益に



スプリント事業

スプリント買収に伴い発生した顧客基盤の償却費437億円を計上したため赤字に

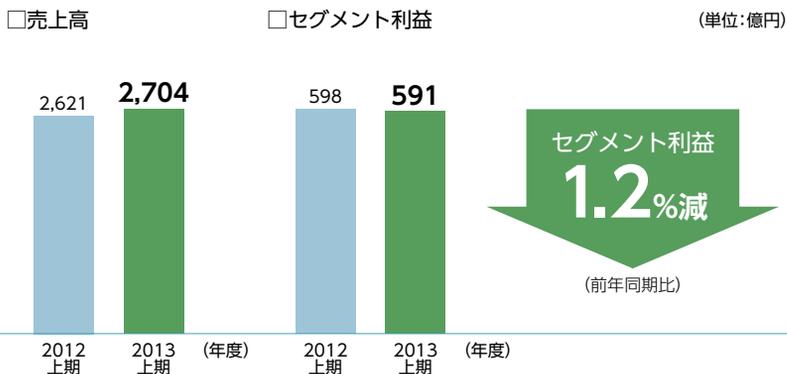


*当社は2013年1月にイー・アクセスを、同年4月にガンホーを、同年7月にスプリントを子会社化したことにより報告セグメントを変更しています。前年度の数値については、変更後のセグメントに準じて表示しています。



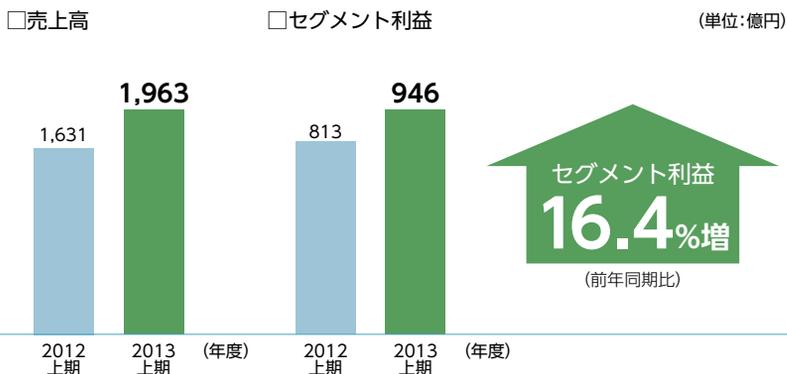
固定通信事業

イー・アクセスの子会社化により増収となったものの、個人顧客向けブロードバンド事業の減収が影響し、減益に



インターネット事業

ヤフーのディスプレイ広告や検索連動型広告の売上が増加し、引き続き増収増益に

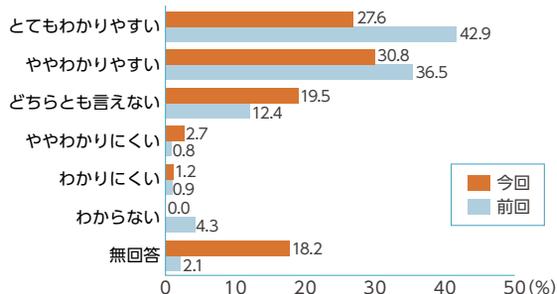


株主アンケート 結果ご報告

「第33回定時株主総会招集ご通知」で実施したアンケート結果をご報告します。お忙しいところご回答いただき、誠にありがとうございました。

アンケート実施期間：2013年6月～7月 有効回答数：9,947件（回答率4.31%）

Q. 株主総会招集ご通知の内容はわかりやすかったですでしょうか？

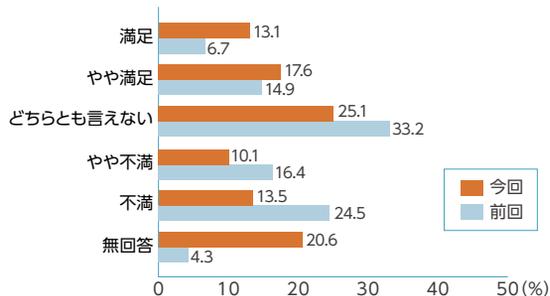


【寄せられたご意見】

● 図やグラフ・写真等を用いて、とてもわかりやすく、かつ字も読みやすいです(50代・女性)
● 役員の方々の顔写真がわかりやすかった(70代・男性)

昨年から無回答の割合が増加しているものの、本年も半数以上の方から「わかりやすい」というご評価をいただきました。今後も「読みやすさ」「わかりやすさ」を追求してまいります。

Q. ソフトバンク携帯電話株主優待についてご意見をお聞かせください。



【寄せられたご意見】

● 今回の優待は良かった(60代・男性)
● 優待よりも配当に回すべき(70代・女性)

より多くの方にご利用いただけるよう、今回から株主優待の内容を変更しました。その結果、「満足」「やや満足」との評価が増加しています。その一方で、「株主優待ではなく配当を増やすべき」とのご意見も数多く頂戴しています。これからもより適正な株主還元而努力してまいります。

他にもさまざまなご意見をいただいています。

● スプリントの業績動向を教えてほしい(70代・男性)

2013年7月にスプリントの買収を完了し、業績改善に取り組んでいます。 [詳しくはP.8へ](#)

● ガンホー含め、グループ全体の更なる飛躍を希望します(60代・男性)

2013年4月にガンホーを、10月にスーパーセルを子会社化し、コンテンツ事業を強化しています。 [詳しくはP.10へ](#)

会社概要

(2013年9月末現在)

■ 社名 (商号)

ソフトバンク株式会社
(英文社名) SoftBank Corp.

■ 設立年月日

1981 (昭和56) 年9月3日

■ 本社所在地

東京都港区東新橋1-9-1

■ 資本金

238,772百万円

■ 株式数

発行可能株式総数 3,600,000,000株
発行済株式総数 1,200,660,365株

■ 株主数

205,267名

■ 事業内容

純粋持ち株会社

■ 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

■ 取締役および監査役

□ 代表取締役社長

孫 正義

□ 代表取締役副社長

宮内 謙

□ 取締役

ロナルド・フィッシャー Director and President, SoftBank Holdings Inc.

ユン・マー Chairman, Alibaba Group Holding Limited

宮坂 学 ヤフー株式会社 代表取締役社長

柳井 正 (社外取締役) 株式会社ファーストリテイリング 代表取締役会長 兼 社長

マーク・シュワルツ (社外取締役) Vice Chairman, Goldman Sachs Group, Inc.
Chairman, Goldman Sachs Asia Pacific

※取締役 笠井 和彦は2013年10月21日逝去により退任致しました。

□ 常勤監査役

佐野 光生 公認会計士

□ 監査役

宇野 総一郎 (社外監査役) 弁護士

柴山 高一 (社外監査役) 公認会計士・税理士

窪川 秀一 (社外監査役) 公認会計士・税理士

株価の推移 (2008年10月1日～2013年9月30日)



【免責事項】本誌に掲載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本誌に掲載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

●本誌に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。
・iPhone、iPad はApple Inc.の商標です。・iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。・Android は、Google Inc.の商標または登録商標です。・ニンテンドー 3DS は任天堂の商標です。

●本誌の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。
●本誌に掲載されている携帯電話の画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。
●本誌に掲載されているサービス内容および製品の仕様・性能・デザインは、予告なく変更する場合があります。

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主確定日 3月31日
- 中間配当金受領株主確定日 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
- 公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL: www.softbank.jp/
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します)

○住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定について

証券会社等に口座を
お持ちの株主さま 口座を開設されている証券会社までお問い合わせ下さい。

特別口座をお持ちの
株主さま 下記連絡先(三菱UFJ信託銀行証券代行部)までお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎします。

○未受領の配当金のお受け取りについて

支払期間経過後の配当金については、三菱UFJ信託銀行本支店までお問い合わせ下さい。

株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話: **0120-232-711** (通話料無料)
〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 (受付時間 土日祝祭日等を除く平日 9:00 ~ 17:00)

(注)旧株式会社アッカ・ネットワークス株式に係る特別口座管理機関へのお問い合わせ 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 電話 0120-782-031 (通話料無料) (受付時間 土日祝祭日を除く平日 9:00 ~ 17:00)



ソフトバンクの
「今」が分かる

冊子の内容についてのより詳しい情報は当社IRサイトでご覧いただけます。

www.softbank.jp/corp/irinfo/

ソフトバンクグループの情報を登録いただいたメールアドレスに月1回お届けします。

[お申し込みはこちら www.softbank.jp/corp/news/magazine/](http://www.softbank.jp/corp/news/magazine/)

ソフトバンク株式会社

〒105-7303 東京都港区東新橋1-9-1

TEL: 03-6889-2000 E-mail: sb@softbank.co.jp www.softbank.jp

